

1. 単元名 南アフリカで人気の漫画を日本で売り込むためのタイトルをつけよう
(NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 Lesson 4 The World's Manga and Anime)

2 単元設定の理由

この単元は、生徒にとって、改めて日本や地域の文化を見つめ直すきっかけとなる。日本の漫画やアニメが海外でも人気があるということについて、多くの人が漠然とは知っていてもどれほどすごいものかはあまり知られていない。GET では、フランスのジャパンエキスポの写真上に、多言語の表示を見ることができ、漫画やアニメが世界に誇れる日本の文化であることを感じることができる。USE READ では、生徒は、アニメが人気になった背景として「調整」が行われていることを知る。日本のアニメは、海外の視聴者のために、言語や慣習がそれぞれの文化に合うように調整されている。

単元終末の言語活動として、ALT の出身国である南アフリカで人気の漫画についてのあらすじを読み、日本で売り込むためのタイトルをつける活動を設定した。この活動を通じて、生徒は ALT との文化交流ができることも楽しみとなる。

文法事項としては、関係代名詞の主格について学習する。生徒はこれまでいくつかの文に分けて表していた情報を一つの文にまとめ、人物や物についての説明がしやすくなる。

本学級の生徒は、意欲の面や英語力の面において二極化が見られるが、学級の持つ優しきや教え合いがスムーズにできる雰囲気があり、生徒相互の学び合いが成立している。2年時のGTECの結果から、4技能の中で特に「読むこと」と「話すこと」に課題があることが分かった。「読むこと」においては、生徒自身の力で発音できる語が増え、音読もできるようになってきてはいるものの、長文の読み取りに関しては苦手意識を持っている生徒も多く、課題の解決までには至っていない。「話すこと」においても、チャット活動で40秒程度しか会話が続かないという実態があった。

そこで、「読むこと」「話すこと」を同時に伸ばす指導はできないかと考え、2年の3学期から①スモールステップによる音読活動を通して、内容理解したことを言語活動へとつなぐ、②教科書本文の概要や要点を理解した後に、理解度を生徒間で確認しあうための質問づくりをする、という2点に取り組んできた。特に、質問づくりをすることは、即興での会話を広げたり続けたりする力にもつながると考えられるため、ペアによる対話の発展にもつながることを期待している。

指導にあたっては、終末の活動を意識させ、興味関心をもって各学習に取り組ませたい。新出の文法事項である関係代名詞については、様々な言語活動を通して、繰り返し使わせながら身に付けさせたい。また、音読活動において、一語一語の発音や意味のかたまり、語や文のもつ意味や働き等を意識させながら、スモールステップでの指導を行い、全員が英文を音読できるようになることや英文読解の仕方を身につけることを目指したい。

3 「読むこと」に関する第3学年の目標

簡単な英語で書かれたコラムや記事を読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 目標 音読活動や内容を問う質問文の作成、英文にタイトルをつける活動などを通して、簡単な英語で書かれた記事の大まかな内容を読み取ることができるようにする。

(2) 評価規準（「読むこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①関係代名詞の特徴やきまりを理解している。	日本の人たちを買うために、南アフリカで人気の漫画についての英文を読みその大まかな内容を読み取った上で、根拠をもとに自分の考えを整理し、日本語のタイトルをつけている。	日本の人たちを買うために、南アフリカで人気の漫画についての英文を読みその大まかな内容を読み取った上で、根拠をもとに自分の考えを整理し、日本語のタイトルをつけようとしている。
②関係代名詞を含むまとまりのある文章を読んで、その内容を読み取る技能を身につけている。		

5 単元の指導計画(全9時間 本時は5/9)

時	学習活動	評価の観点			評価方法
		知	思	態	
1	・日本の作品の英語版タイトルを考えるクイズをして、単元の目標について理解する。 ・関係代名詞 that, which (主格) の特徴や決まりに関する事項を理解する。	・知①			ワークシート 観察
2	関係代名詞 that, which (主格) を含む英文を読み、要点を問う質問文をつくる。	・知②			ワークシート 観察
3	関係代名詞 who, that (主格) の特徴や決まりに関する事項を理解する。	○知①			ワークシート、観察 ペーパーテスト (後日)
4	生き物や人物を紹介するために、関係代名詞を使って英英辞典をつくる。	・知①			
5 (本時)	関係代名詞 who, that (主格) を含む英文を読み、要点を問う質問文をつくる。	・知②			ワークシート 観察
6 7	日本の漫画やアニメが海外で出版・放映されるときに変更される点についてまとめるために、日本の漫画とアニメの海外進出について書かれた記事を読んで概要を捉える。	○知②			ワークシート 観察
8 9	日本の人たちを買うために、南アフリカで人気の漫画についての英文を読みその大まかな内容を読み取った上で、根拠をもとに自分の考えを整理し、日本語のタイトルをつける。		○思	○態	ワークシート 観察

5 本時案

- (1) 題目 ジンと花の対話の要点を問う質問文をつくろう。
- (2) 本時のねらい リスニングや音読活動、内容を問う質問文作成活動を通して、関係代名詞（主格）を含むジンと花の会話の内容について、その要点を理解することができるようにする。
- (3) 評価規準 キャプテン翼がどんな人物であるかについて書かれている関係代名詞を含む文の内容を読み取ることができる。【知識・技能】（観察・ワークシート）
- (4) 展開

学習活動	時間	指導及び支援（鶴田）	個別の支援（鶴田・酒井）
1. ウォームアップ	3	○教師と、ペア同志であいさつをして今日の流れを確認する。	
2. 復習	7	○各自で作成した英英辞典からペアでクイズを出し合わせる。	○Aさんの英英辞典から1つ選ばせクイズを出させる。相手のクイズの英文のキーワードの意味、答えを考えさせる。
3. 単語の発音練習をする。	5	○単語シートを使い、新出単語をリピートさせた後、ペアで1人1分ずつ単語の発音と意味を確認させる。	○Aさんに音の区切りを指で示しながら読ませる。
4. 本時の学習をする。 (1) リスニング (2) めあての確認	30	○文を見せずに、聞くポイントを与えて聞かせる。 ・何を話していたか全体に聞く。 ○キャプテン翼について、さらに詳しい内容を聞き取らせる。 ・聞き取った内容についてペアでシェアさせる。	
ジンと花の会話の内容を友だちに確認するための質問文をつくろう。			
(3) 本文の要点をつかむ		○ワークシートの Q&A、T or F に取り組ませる。 ・質問の答えが書かれている文に線を引いてから英語で答えるように指示する。 ・机間指導で生徒の理解度を確認しながら助言する。 ○ピクチャーを使い、内容についてやりとりをしながら Q&A の答えを確認する。 ○推論発問に答えさせる。	○Aさん、Bさんに、質問文の疑問詞の意味、主語と動詞を確認する。
(4) 本文を音読する。 ①一語読み②チャンクリポート③日英変換読み④1文リピート⑤バズ読み⑥役割読み⑦代名詞変換読み		○音読活動について知らせ、自分の目標を持たせる。	○Aさんには読み方を書いたシートを用意する。Bさんの集中が切れたら文を指さしながら読ませる。
(5) 質問文の作成		○本文の内容を問うための質問文を作らせる。 ○書けない生徒には、be 動詞に着目させる。	○A,Bさんに、be 動詞に着目させ Yes/No 疑問文を1つは作らせる。
4. 振り返り	5	○読解・音読活動や質問づくりで難しかったこと、工夫したことについて振り返らせる。	○A,B,Cさんの学習状況を見取り、それぞれの良さを伝える。
ジンと花の会話の内容を読み取れた。キャプテン翼のことがわかった。関係代名詞の文がわかった。疑問詞を使って、質問文をつくることができた。			

